

令和6年度第3回狭山市地域公共交通活性化協議会書面開催結果報告

○協議事項 市内循環バス茶の花号のルート見直しについて

総員賛成で承認されました。意見と回答は以下のとおりです。

意見	回答
<p>ロータリーの構造上、曲線が多い形状となることが想定されますので、バスが停留所に正着（正しく着けられるよう）できるよう、運転する側の意見として要望させていただきます。</p>	<p>駅前広場及びバス停留所の整備にあたりましては、バスの運行に支障のないよう、入曽駅周辺整備事業担当課にて路線バス運行事業者様と事前に協議させていただいております。</p>
<p>今般の見直し案については、入曽駅周辺整備事業に伴い、バス停を移動することで市民の利便性と安全性を向上する目的であり、評価できる。</p> <p>なお、入曽西コースにおいては、現行コースが踏切を通過するルートであることから、駅西口へのアクセス道路の拡幅が終了次第、入曽駅西口を終着とする事を検討すべきと考える。</p>	<p>市内循環バス茶の花号入曽西コースの入曽駅西口への乗り入れにつきまして、今後運行ルートの見直しを実施する中で、アクセス道路拡幅の進捗を踏まえながら、検討してまいります。</p>

○報告事項 堀兼地区デマンドバス実証運行の運行内容の見直しについて

意見と回答は以下のとおりです。

意見	回答
<p>合理的な運行とするために、使用する車両を一台に減らすこと自体に異論はありません。一方、高頻度に利用する方が一定数存在する場合、使用車両を減らすことで、予約が取りにくくなる可能性があります。予約の成立割合がどう変化するのか、注視されることが望ましいと考えます。</p>	<p>予約の成立割合の変化を注視し、今後予約が取りにくくなることで極端に利用者の利便性が損なわれる状況が見られた場合には、地域運営組織において対応についてご協議いただきたいと思いますと考えております。</p>
<p>実証運行の利用状況がわかる資料を示していただいた方が良いと思います。</p>	<p>令和7年2月開催予定の協議会で実証運行2年目の評価検証として詳細な利用状況をご報告予定です。今回資料では概要の記載となっており申し訳ありませんでした。</p>

<p>内容についてはないが、実施時期が、年明けすぐであることから、住民への周知が行き届くかどうか懸念される。</p>	<p>11月中に地域運営組織により、自治会を通じたチラシの全戸配布、車両やHPへの案内の掲出、利用登録者へのメール配信など周知に取り組んでいただいております。今後も継続して周知を図っていく予定です。</p>
<p>各地のデマンドバスが厳しい状況にあり、狭山市も早期に方向性を定めて、他の方法も検討された方が良くと思慮。</p>	<p>堀兼地区デマンドバス実証運行については、現在、2年間の評価検証を踏まえて市と地域運営組織において今後の方向性を検討中です。また、令和7年度には狭山市地域公共交通計画に基づき、他の方法の活用の可能性も含めた市内公共交通の在り方についてご協議いただきたいと考えております。</p>
<p>毎回ご提案しているとは思いますが、是非バリアフリー化を実現し、どんな方でも利用しやすい、利用可能なデマンドバスにして頂ければと思います。</p> <p>現状はそうになっていないことを知っていただき、改善を強く希望します。</p>	<p>現在、車両にはステップや手すりを設置しており、また、介助者と同乗いただくことで車椅子をご利用の方等についてもご乗車いただけることとなっております。更なるバリアフリー化については、引き続き検討させていただきます。</p>
<p>本件は報告事項であり、賛否を表すものではない。しかし、運行エリアの見直しに伴う「入曽駅東口」の廃止であるが、令和7年3月の入曽駅東口の街びらきにより新たな商業集積が形成され、現行の利用状況に変化が生じる見込みがある。堀兼地域内での調査を継続し、入曽駅の利用希望者が増加する場合には、再度運行エリアの改変を検討するなど、柔軟に対応する必要があると考える。</p>	<p>今回の入曽駅東口乗降場の廃止につきましては、地域運営組織で協議のうえ、今後の入曽駅の需要増加による堀兼地区内の運行効率の低下を懸念し、決定したものです。ご意見をいただきましたとおり、入曽駅まちびらきに伴い、利用状況や利用者からの要望などに変化が生じることが見込まれますので、引き続き、利用状況等を注視し、デマンドバス運行のあり方について地域運営組織においてご協議いただきたいと考えております。</p>